

2019 年度

公益社団法人 北海道社会福祉士会 十勝地区支部

事業報告

十勝地区支部 基本理念 「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる」

はじめに

今年度より新役員体制でスタートし、副支部長＝委員長体制への変更、基礎研修Ⅲの地元開催、委員会の再編、ブロック幹事の設置、受験生支援、ホームページの管理・・・等、これまでの地区支部の課題解決と地域・社会の要請に即して、今年度も活動してきた。

十勝地区支部の基本理念でもある、つなぐ、ささえる、まもる、つくる、かえるを会員一人ひとりが改めて意識化し、会員相互も含め社会の中で社会福祉士の役割を再認識する事が求められている。

I 組織の現状

2020年4月末現在

	十勝地区支部	北海道社会福祉士会	日本社会福祉士会
会員数の動向	会員数 181名 ※前年同月比 7名増	1,833名 ※前年同月比 86名増	43,091名 ※前年度比 884名増

会員数は毎年10人前後増加する状況が続いている。特に受験生時代から会員と関わりのある合格者は、入会した後基礎研修Ⅰの受講に結びついており、資格取得前からの関わりが重要である。

一方で、会員数の増加に伴い会員ニーズの把握や会の活動の周知等が課題となってきている

II 組織・運営体制

今年度より体制が変更となったが、組織・運営体制は昨年度までの体制を基本とし、一部再編し機能強化を図った

1. 副支部長+委員長体制への変更による副支部長の負担軽減
2. 委員会の再再編～広報交流委員会→広報連携委員会、人材育成委員会の創設

1 四役および業務分掌

①支部長	石川 尚樹	事業骨格の立案・事業進捗状況の総括・地
------	-------	---------------------

		区支部の対外的な窓口・四役会議招集等
②副支部長	権利擁護委員会 川向優 子 生涯研修委員会 寺本 圭祐 広報連携委員会 小松 健児 人材育成委員会 鹿内 輔	担当委員会の委員長。事業実施状況の把握と意思決定・各部会の連携調整・事業推進のための調整・提案（四役会議への報告・提案・担当委員会の予算執行状況の把握・調整
③事務局	事務局長 東村 智之 ※事務局（みやざわ社会福祉士・行政書士事務所）	道事務局との連絡調整・役員会の議案整理・地区支部役員と会員間の連絡調整・行政関連団体との連絡調整等
④会計	田巻 憲史	地区支部の事業推進にかかる出納管理、道会への報告、予算執行状況の把握 等

2 三役会議・役員会の役割

三役会	支部長・副支部長・事務局長 ※適宜、会計、道の委員会委員を招集	地区支部の運営に関する検討・担当委員会の状況把握と報告相談・各部会間の連携・基礎研修の運営・役員会の議案検討 等
役員会	三役・幹事・監事・道委員（地区支部推薦）・部会長	事業の進捗状況の共有・その他事業推進に関する意思決定

3 委員会・部会体制

委員会	部会	主たる任務および担当事業	メンバー
生涯研修委員会 （寺本副支部長）	基礎研修部会 （寺本副委員長兼務）	基礎研修Ⅰ～Ⅱの運営、基礎Ⅲ運営協力、生涯研修制度の周知等	倉橋健、太田文弘、久保晃利各会員
	学習会・セミナー部会 （金石部会長）	社会福祉セミナー・定例学習会の企画運営 PMC ラボ、道東のつどい等	
権利擁護委員会 （川向副支部長）	成年後見部会 （柴田部会長）	権利擁護セミナー、成年後見人フォローアップセミナー、成年後見制度の周知、道ばあとなあ運営委員会との連携 等	出口延幸、河瀬貴、清野光彦、清野祥子、荒浩美、渡邊加代子、内山信美、宮崎洋子各会員
	司法連携部会 （長村部会長）	司法連携に関すること、活動ニーズ調査、司法福祉に関する	

		る研修会 等	身、川田郁視各会員
広報連携委員会 (小松副支部長)		ニュース作成、HP 管理、他団体との連携等	中山晶子、山口潤、大林将秀各会員
地域連携委員会 (鹿内副支部長)		受験生支援企画、会員ニーズ調査、その他会員や社会ニーズに基づく企画	国安令子、鳥瀬一成、臼井順子各会員

4 ブロック幹事

南十勝 広尾・大樹・更別・中札内	北十勝 上士幌・士幌・音更	西十勝 新得・鹿追・清水・芽室	東十勝 陸別・足寄・本別・池田・豊頃・浦幌・幕別
山口 潤	河瀬 貴	佐々木 政人	

5 成年後見人合議体の運営

地区支部窓口	支部長 石川 尚樹
運営委員	石川 尚樹支部長・河瀬 貴道ばあとなあ運営委員・清野 祥子会員・川向 優子 権利擁護委員会委員長・内山 信美会員

6 北海道社会福祉士会への派遣委員

ばあとなあ北海道運営委員会	河瀬 貴会員
生涯研修委員会	寺本 圭佑会員
地域包括支援センター支援委員会	川向 優子会員
企画総務委員会	東村 智之会員
生活困難者委員会	渡辺 洋一郎会員
災害対策委員会	山口 潤会員
子ども未来部会	鹿川 靖子会員
司法分野との連携特別委員会	長村 麻子会員
現場実習指導者研修委員会	斉藤 久恵 会員

Ⅲ 地区支部全体会・意見交換会・三役会議・役員会

全体会・意見交換会	三役会議		役員会	
5月18日	第1回	6月6日	第1回	4月24日
12月7日	第2回	9月18日	第2回	6月25日

	第3回	10月8日	第3回	9月25日
	第4回	1月24日	第4回	11月27日
	第5回	3月18日	第5回	3月25日

IV 委員会等の活動報告

1 広報連携委員会

① 委員会の開催	令和元年6月30日、令和2年2月9日開催 その他随時メールで意見交換を行った
② にゅーすの発行	9月、2月に発行
③ ホームページ運営	随時情報更新 *ホームページ作成・管理委託先：ワークフロア清柳
④ 福祉フェスティバル 2019 (相談コーナー担当)	11/9-10 とかちプラザ 大集会室 伊藤ゆかり、小松健児、西 立夫、山田周平各会員（4名）
⑤ 10士業合同 くらしのよろず相談会	10/9 10:00~15:00 とかちプラザ大集会室 参加士業 弁護士・司法書士・行政書士・税理士・社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー・建築士・宅地建物取引士・土地家屋調査士・社会福祉士 参加 國安令子、郷晃、柴田聡美、中山晶子、藤澤道幸各会員

2. 人材育成委員会

① 委員会の開催	グループLine で必要に応じて意見交換
② 受験生支援 ※受験生とLINE グループを作り組織化し情報交換等（登録数20名余）	「社会福祉士受験対策講座」11/2.9.23.30.12/1 計5回 社会福祉法人元気の里がキャリアパス補助金申請し開催 地区支部が運営・講師の委託を受ける 講師 東村智之・高橋俊明・宮澤英雄・石川尚樹・岡本大輔・杉野全由・清野敏彦・長村麻子、鹿内 輔、山口芳伸各会員 ※その他自主勉強会、模擬試験等開催

③地域包括支援センター職員等研修	2/28 講義：地域包括支援センター等が実践で活用できる評価シートについて コロナウイルス感染拡大にて中止
④地域づくり研修～養介護施設従事者等虐待防止研修	11/12 参加 93 名 講義：要介護施設従事者等による高齢者虐待の基本的な考え方と視点について」 演習：グループワーク 講師：今井 敦氏 (旭川市神楽・西神楽地域包括支援センター)
⑤ソーシャルワーカー出前講座	池田高校福祉教育アドバイザー 山本 由美子会員 12月 2日

3. 権利擁護委員会

①司法連携部会	<p>①部会の開催 5月24日、6月6日、6月19日、7月30日、8月22日 10月1日、10月23日開催</p> <p>②10/26 罪を犯した高齢者・障がい者の「入口支援」を考える研修会（41名参加） 釧路弁護士会共催 基調講演「入口支援…犯罪に出た障害者・高齢者をどう支援するべきか？」講師：西村武彦弁護士 実践発表：富田佳佑弁護士・今井敦（会員）・杉臣幸恵弁護士・鈴木茂雄弁護士・山口芳伸（会員） パネルディスカッション「司法と福祉の連携を考える」進行：友澤太郎弁護士</p>
②成年後見部会	<p>①部会の開催 7月18日、11月5日</p> <p>②成年後見人フォローアップ研修 9/9 第1回（参加19名） 報告者 田中信宏、宮崎洋子各会員 10/21 第2回（参加13名） 報告者 小林信之、郷 晃、宮澤英雄各会員 1/20 第3回（参加13名） 報告者 山本進、鈴木美智子、斉藤久恵各会員 2/3 第4回（参加11名） 報告者 鹿川靖子、荒 浩美、久保晃利各会員</p>

	<p>③みまも～る事例検討会 6回開催 荒 浩美、杉野 全由、宮崎 美子、渡邊 加代子、内山 信美各会員</p> <p>④成年後見調整合議体 13回開催21人調整 清野 祥子、河瀬 貴、川向 優子、内山 信美、石川 尚樹各会員</p> <p>⑤権利擁護セミナー（参加23名） 11/10「権利擁護セミナー」 講演1 成年後見制度における本人情報シートの役割について 講師：田代 康 氏 （釧路家庭裁判所帯広支部 上席主任書記官） 講演2 本人情報シートに関する概要と流れ 講師：清野 光彦会員 説明 本人情報シートの活用 講師：河瀬 貴会員</p>
--	--

4. 生涯研修委員会

<p>①基礎研修部会</p>	<p>【基礎研修Ⅰ】</p> <p>10/19 第1回集合研修 受講8名 演習「社会福祉士の専門性を考える」 講師：道生涯研修委員会委員 寺本圭祐会員</p> <p>2/15 第2回集合研修受講8名 講義1「社会福祉士の共通基盤」講師 倉橋 健会員 講義2「社会福祉士の倫理綱領」講師 寺本圭祐会員 演習「倫理綱領」講師 久保晃利会員</p> <p>【基礎研修Ⅱ】 受講12名</p> <p>6/15 相談援助の視座と展開過程 講師 太田文弘会員 6/16 実践のためのアプローチ自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 講師 太田文弘会員 7/20 実践事例演習 講師 鹿内 輔会員 8/24 社会資源の理解と社会資源開発 講師 岡本大輔会員 連携システムのあり方とネットワークの構築</p>
----------------	--

	<p>8/25 地域における福祉政策と福祉計画 社会福祉調査の方法と実際 講師 岡本大輔会員</p> <p>10/12 社会福祉における法Ⅰ ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ 講師 清野祥子会員</p> <p>10/13 社会福祉における法Ⅱ ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ 講師 石川尚樹会員</p> <p>11/16 実践研究の意義と方法 講師 堀田満生会員</p> <p>11/17 実践評価の方法 講師 堀田満生会員</p> <p>※基礎研修Ⅲは道生涯研修委員会で直轄運営・地区支部は運営協力</p>
<p>②学習会セミナー部会</p>	<p>◇ 定例学習会</p> <p>5/19 第1回 「社会福祉士として～私が考える社会福祉士としてあるべき姿～」(参加46名) 報告 渡辺洋一郎会員、東村智之会員、山口潤会員</p> <p>◇道東のつどい</p> <p>11/30 お寺ヨガ&法話～ ～対人援助職自身のセルフケア・癒しを考える～ (12名参加) 講師：角島 あさみ 氏 講師：織田 秀道 住職</p> <p>◇社会福祉セミナー</p> <p>12/7 (参加51名) 基調講演「子どもに関わる大人の学び」 佐々木 浩治氏 (足寄町こどもセンターどんぐりセンター長) 細谷 優子氏 (" 支援担当主査) 実践報告</p> <p>I. 児童相談所と市町村の関わり 十勝総合振興局保健環境部児童相談室子ども支援課 主任児童福祉司 中村育恵 氏</p> <p>II. NPO 法人かしわのもりの取り組み NPO 法人かしわのもりここから実験室 室長 平井啓太氏</p> <p>◇道東ソーシャルワーク研究会 (PMC ラボ)</p>

	<p>2/8 (参加 41 名)</p> <p>講演 2020 共生社会～障害者スポーツの魅力と可能性、PMC のサポートが必要な理由～</p> <p>講師 高橋勝洋氏</p>
--	--

5. ブロック活動

地域における社会福祉士や福祉に関する動向を把握し、情報を集約・発信する窓口と位置付けましたが、十分に活動につながらなかった。担当三役の明確化や予算措置等活動の支援が課題となった。

6. 専門性を生かした地域・社会貢献

<p>管内関係機関への 委員等派遣</p>	<p>帯広市社会福祉協議会評議員 笠松 信幸会員</p> <p>帯広市介護認定審査会 泉 昌弘、岡本大輔各会員</p> <p>帯広市障害支援区分認定審査委員会</p> <p>久保 明、岡本 大輔、阿部 敏之、鹿内 輔各会員</p> <p>帯広市認知症初期集中支援チーム検討委員会 荒 浩美会員</p> <p>帯広市健康生活支援審議会 山本 由美子会員</p> <p>帯広市在宅医療・介護ネットワーク会議 田巻 憲史会員</p> <p>帯広市成年後見ネットワーク会議 石川 尚樹会員</p> <p>道東知的障がい福祉協会オンブズマン 寺本 圭祐会員</p> <p>南十勝障害支援区分認定審査委員会 東村 智之会員</p> <p>芽室町権利擁護事業専門部会 荒 浩美会員</p> <p>陸別町成年後見実施機関運営協議会・りくべつ生活安心センター 受任等調整会議 宮澤 英雄、河瀬 貴各会員</p>
----------------------------------	--